

資 料 提 供
令和6年9月10日
里山振興室 中村
内線 4608
外線 (076)225-1608

世界農業遺産“ザ・いっぴん”フェアの開催について

石川県、能登4市5町、関係団体で構成する世界農業遺産活用実行委員会では、世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力を広く発信するため、同じく世界農業遺産に認定されている岐阜県と連携して、石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」において共同PRイベントを下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 令和6年9月14日(土)、15日(日) 10:30~20:00
- 2 場 所 八重洲いしかわテラス(東京都中央区八重洲2-1-8 八重洲Kビル1階)
- 3 内 容 両県の世界農業遺産認定地域の共同PR
 - ① 両県の“いっぴん”の販売
 - ・石川県：未来につなげる「能登の一品」※1
能登ワイン、干くちこ、いしり等
 - ・岐阜県：清流長良川の恵みの逸品※2
鮎菓子、長良川サイダー、明方ハム等
 - ② 両県の日本酒・おつまみセットの販売
 - ・石川県：日本酒＝竹葉 てをとりちくは生貯蔵酒
おつまみ＝さざえの燻製
 - ・岐阜県：日本酒＝清流の国 大吟醸
おつまみ＝鮎アヒージョ
 - ③ パンフレットの設置、プロモーション映像の放映によるPR

※1 世界農業遺産 未来につなげる「能登の一品」

「能登の里山里海」で生まれ、世界農業遺産の保全・継承に資する商品を「世界農業遺産 未来につなげる『能登の一品』」として認定。(全43商品)

※2 世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」

清流長良川で生まれ、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・継承に資する商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定。(全62商品)

能登のために
買って応援、
ありがとう
石川県

石川県・岐阜県 連携

2024年

9/14(土)
9/15(日)

世界農業遺産

“ザ・いっぴん” フェア

本イベントでは、両県の世界農業遺産である
「能登の里山里海」と「清流長良川の鮎」にスポットを当て
そこで生まれ、磨かれた選りすぐりの商品を販売します！



石川県

〈 能登の一品 〉

〈 清流長良川の恵みの逸品 〉

岐阜県

※画像はイメージです

茶バルコラボ

能登・岐阜の地酒と
おつまみをセットにした

飲み比べセットを販売! 500(税込)円

〳 売り切れ次第終了/
限定 300 セット

日本酒は各種1杯ずつ、おつまみは各種2切程度を予定しています。

〔 能登の里山里海 〕

日本酒 竹葉 てをとりちくは 生貯蔵酒(数馬酒造)
おつまみ さざえの燻製(輪島海美味工房)

〔 清流長良川の鮎 〕

日本酒 清流の国 大吟醸(渡辺酒造醸)
おつまみ 鮎アヒージョ(鮎料理専門店十六兆)



八重洲
いしかわ
テラス

「八重洲いしかわテラス」公式SNS、HP



Instagram



X (Twitter)



ホームページ

東京都中央区八重洲2-1-8 八重洲Kビル1F
営業時間 / 10:30~20:00

- 東京駅 (JR) 八重洲中央口から4分
- 京橋駅 (東京メトロ銀座線) 8番口から4分
- 日本橋駅 (東京メトロ銀座線・東西線/都営浅草線) B3口から5分
- ヤエチカ26番出口そば



お問い合わせ / 農林水産部里山振興室 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL:076-225-1631

世界農業遺産とは

／ GIAHS ／

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた
独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、
ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、
世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域(農林水産業システム)であり、
国際連合食糧農業機関(FAO)により認定されます。

／ ISHIKAWA ／

石川県



能登の里山里海

低山と丘陵地が多く、三方を海に囲まれている能登は、日本の原風景とも呼ぶべき優れた里山景観を持つほか、生物多様性が守られた伝統的な農林漁法や伝統技術、農林漁業と密接な関わりを持つ文化・祭礼が今なお継承されています。さらには、「能登の里山里海」を未来へ受け継いでいくための保全活動が能登の各地で進められています。こうした点が評価され、石川県能登半島に広がる「能登の里山里海」は平成23年に、新潟県佐渡市とともに日本で初めて、国際連合食糧農業機関(FAO)により世界農業遺産に認定されました。

／ GIFU ／

岐阜県

清流長良川の鮎

86万人もの流域の人々の暮らしの中で清流が保たれている長良川。そんな長良川の澄んだ水の中で育つ「鮎」は流域の食や伝統文化、歴史、経済と深く結びつき、長良川の豊かさをあらわす象徴といわれています。鮎を通じて見えてくる、そうした人の生活、水環境、漁業資源が相互に深く関わり循環する仕組み。それは世界に誇るべき「里川」のシステムと呼べるものです。

2015年(平成27年)、そんな「長良川(里川)のシステム」が世界に認められ、「清流長良川の鮎」(里川における人と鮎のつながり)として世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産は、鮎だけでなく長良川の水の美しさや生態系、水を育む源流の森、流域に住む人々の水とともに暮らす伝統文化やなりわいなどを含んで認定されています。また、長良川では多くの人々が、川を清掃し、希少な生物を保護し、自然環境を保つ活動をしています。こうした多くの人の努力のおかげで、川で遊んだり、川魚を食べたり、鵜飼などの文化を楽しむことができるのです。

